

# 平成28年度 学校関係者評価報告書

平成28年7月1日  
学校法人国際ことば学院  
国際ことば学院外国語専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人国際ことば学院・国際ことば学院外国語専門学校の学校関係者委員会は、平成27年度自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を行いました。

## 学校関係者評価委員(順不同・敬称略)

栗田 裕之	静岡市議会議員
浜本 百合子	医療法人社団浜本整形外科医院 理事・事務長
清水 英治	株式会社ブリックス 代表取締役
伊藤 精俊	有限会社アミュージングデザインイトウ 代表取締役
イトゲル バトデレゲル	北川工業株式会社 海外事業部 モンゴル担当
中村 直保	八幡3丁目自治会会長
伊藤 照之	前常葉大学非常勤講師
宮路 希子	国際ことば学院外国語専門学校在校生父兄
末續 晨一郎	学校法人国際ことば学院 理事長
袴田 靖子	国際ことば学院外国語専門学校 校長
中村 八重子	国際ことば学院外国語専門学校 教務主任
山内 美里	国際ことば学院外国語専門学校 教務主任
渡邊 学	国際ことば学院外国語専門学校 事務部長

## 平成28年度第一回学校関係者評価委員会

日時:平成28年6月30日(木) 15:30~17:15  
場所:国際ことば学院外国語専門学校 203教室  
出席:浜本百合子、伊藤照之、伊藤 精俊、宮路希子、中村直保  
末續晨一郎、袴田靖子、中村八重子、渡邊学、山内美里

## 議題等

委員紹介 学校法人国際ことば学院のグループ校と外国語専門学校の概要  
職業実践専門課程と学校関係評価委員会について  
平成27年度の自己点検・自己評価について会議資料に基づいて報告  
学生の現状(在校生の状況・卒業生の就職状況)  
平成27年度の重点目標達成に関する自己評価  
『平成28年度自己評価報告書』に基づいて平成27年度の活動を振り返り、それをふまえて各基準10項目の今後の課題について

平成27年度自己点検・自己評価における学校関係者評価

	課題に対する学校の取組み状況	評価
<p>1. 教育理 念・目的・ 育人材 像</p>	<p><input type="checkbox"/>教育理念及び育人材像について関連業界のニーズに応じる形で作成した。今後は、学生・保護者・関連業界へ浸透させるべく情報発信のできるだけ多くの対外販促ツールへの記載を徹底していく。</p> <p><input type="checkbox"/>現状教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の委員の意見を取り入れて最適化に努めているが、引き続き企業と連携している授業を担当いただいている企業の方の意見等も積極的に取り入れていく。</p> <p><input type="checkbox"/>関連業界出身の外国語講師自体の母数が少なく採用には苦労しているが、今後も引き続き採用の間口を広げていきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>学内外とも積極的に関連業界の協力を得ながら実習を行っておりできるだけ多くの授業を行いたい企業がとの日時調整が難しい場合が多く長期計画の中で設定していく必要がある。</p> <p><input type="checkbox"/>多言語でコミュニケーションできる環境づくりのために中国人、韓国人、英語圏の学生の積極募集が必要であり、教員についてもマルチリンガル教員の積極採用が必要である。</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降の課題として学校の将来構想について対外啓蒙ツールの開発に取り組みたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>対外的な理解、浸透に努めて欲しい。</p>
<p>2. 学校運営</p>	<p>運営方針 <input type="checkbox"/>昨年度、運営方針の改定を行ったので教職員への周知に努めたい。</p> <p>事業計画 <input type="checkbox"/>現状大きな課題はない。</p> <p>運営組織 <input type="checkbox"/>現状に満足することなく常に学生満足度の向上を目指せる運営形態を目指し最適化を図っていく予定である。</p> <p>人事・給与制度 <input type="checkbox"/>採用後の昇任・昇給の規定や人事制度の導入が遅れているので中期計画の中で整備していく。</p> <p>意思決定システム <input type="checkbox"/>規則・規定については未整備であるので中期計画の中で整備していく。</p>	<p><input type="checkbox"/>運営方針の教職員への浸透につとめてほしい。</p>
<p>3. 教育活動</p>	<p>目標の設定 <input type="checkbox"/>職業教育に関する方針、実施方針をH28年度中に文書化する。 H28年度は学生の資質向上に伴いクラスや担当の枠を超えて、担当教科ごとに資格取得に向けての支援指導を行う体制をさらに強化する。 キャリア教育の整備、充実を図る。</p> <p><input type="checkbox"/>授業評価を実施する体制を整え、評価内容を改善した。H28年度はさらに評価対象を増やし内容を精査していく 成績評価や修了認定について、客観性・統一性を高めるため、教員向けのガイドラインを作成する。</p> <p><input type="checkbox"/>関連業界と連携し、教員の研修研究を充実させ授業に反映させる工夫をする。 キャリア開発支援が十分に行われていない。今後は長期的な視野に立った人材育成計画を立てるとともに、専任教員を中心にキャリア開発支援を行う。</p>	<p><input type="checkbox"/>職業教育に関する方針、実施方針の文書化を本年度の重点目標にしてほしい。 <input type="checkbox"/>昨年度実施した授業評価について、さらに精度を上げて実施することで効果的な授業運営に役立ててほしい。</p>

4. 学修成果	<p>就職率  <input type="checkbox"/>留学生については、ビザ取得までが就職活動であり、今年度以上に企業開拓からビザ取得のフォローまでよりきめ細かく行っていく。</p> <p>資格・免許の取得率  <input type="checkbox"/>現在以上の合格率確保のために次年度も引き続ききめ細かな対策授業を行っていく。</p> <p>卒業生の社会的評価  <input type="checkbox"/>就職後3年の卒業生および企業訪問などを通して卒業後の実態を把握するよう努めている。</p>	<input type="checkbox"/> 卒業生の社会的評価など卒業生の実態把握は大切なので実態を把握する仕組みが必要。
5. 学生支援	<p>就職等進路  <input type="checkbox"/>現状大きな問題は生じていない。  中途退学への対応  <input type="checkbox"/>学生へのメンタルケアの重要性から現在2名の有資格者がいるが今後も資格取得を教職員に薦めていく。</p> <p>学生相談  <input type="checkbox"/>留学生の就職、進学については在留資格(ビザ)との関連性が深く、今後も教職員には法令遵守など独自の対応が必要であり担任会議などできめ細かな情報共有に努めていく。今年度より学生相談カードの明確な管理を行っていく。</p> <p>学生生活  <input type="checkbox"/>学生への緊急時の高額な経済的支援体制は中長期の中で解決させる。  保護者との連携  <input type="checkbox"/>より緊密な連携体制を中長期計画の中で整備していく。</p> <p>卒業生・社会人  <input type="checkbox"/>今年度就職者を中心とした同窓会を実施する。</p>	<input type="checkbox"/> 学生が相談しやすい学校環境は必要であり、相談カードの統一と学内共有に努める必要がある。 <input type="checkbox"/> 卒業生とのコンタクトが取れる環境にはあるようだが、同窓会を立ち上げて定期的に開催するなどの施策が必要。
6. 教育環境	<p>施設・設備等  <input type="checkbox"/>バリアフリー対策が未整備であり、中長期計画の中で整備していく。</p> <p>学外実習、インターンシップ等  <input type="checkbox"/>実習、研修、インターンシップ内容については、学生の意見なども取り入れ満足度が高く、教育効果の高いものに常にしていきたい。</p> <p>防災・安全管理  <input type="checkbox"/>防災訓練については、あらゆる防災に対応できるよう毎年見直しを行うようにする。</p>	<input type="checkbox"/> 職業意識の醸成のためにインターンシップは比おり較的充実していると言えるが、より企業ニーズや学生ニーズを組み込んだインターンシップの実施が望ましい。
7. 学生の募集と受入れ	<p>学生募集活動  <input type="checkbox"/>学校規模の広報予算から、制作物については限定せざるを得ない。中長期計画の中で見直しを図っていく。</p> <p>入学選考  <input type="checkbox"/>対象者への接触数と出願に至る予測数値が見えるようになってきたが最適化されているとは言えず、今後3年程度は、最適化までの摸索期間が継続される。</p> <p>学納金  <input type="checkbox"/>現状大きな課題はない。</p>	<input type="checkbox"/> 在校生の出身校の教員へ学生のメッセージ入りのハガキや手紙を送ることで高校や日本語学校との関係が深まり学生募集に寄与できるので積極的に情報提供を行ってほしい。
8. 財 務	<p>財務基盤  <input type="checkbox"/>平成29年には、教室稼動と定員のバランスが最適化され収支バランスの数値指標が完成できる予定である。中長期計画の中で課題抽出まで至っておらず法人本部の組織改編でそれらの分析を行う予定である</p> <p>予算・収支計画  <input type="checkbox"/>規定の整備が中期計画の中で必要である。</p> <p>監査  <input type="checkbox"/>外部監査については、中長期計画の中で整理していく。</p> <p>財務情報の公開  <input type="checkbox"/>財務情報公表の整備については、中長期計画の中で整備していく。</p>	<input type="checkbox"/> 健全な財政基盤の維持に努めて欲しい。

財務公開規定は整備されておらず、中期計画の中で整備す

9. 法令等の 遵守	<p>関係法令、設置基準等の遵守 <input type="checkbox"/>セクシャルハラスメント、コンプライアンスに関する相談窓口等の整備は未整備であるので中期計画の中で整備する。</p> <p>個人情報保護 <input type="checkbox"/>個人情報保護規程や学生、教職員への啓発活動は未整備であり、次年度中に整備する。</p> <p>H28年は学内サーバからの個人情報漏えい対策としてファイヤーウォールからより強固なセキュリティ対策を講じることができるUTM(統合脅威管理)システムへ移行させる。</p> <p>H28年に学生原簿や出席簿などは、鍵のかかる書庫への保管に移動する。</p> <p>学校評価 <input type="checkbox"/>現状運用に大きな問題はない。</p> <p>教育情報の公開 <input type="checkbox"/>現状大きな問題はない。</p>	<p><input type="checkbox"/>個人情報の取り扱いについては、取り分けインターネットセキュリティに対する対策は強固なものが必要であり、積極的な対策が望ましい。</p>
10. 社会貢 献・地域 貢献	<p>社会貢献・地域貢献 <input type="checkbox"/>中国語、英語学習者向けの交流プログラムの充実を中期計画の中で整備していく。</p> <p>ボランティア活動 <input type="checkbox"/>積極的に学校でボランティア活動を実施している。</p>	<p><input type="checkbox"/>ボランティア活動などをは地域貢献に必要なことであり、積極</p>